

琵琶湖・瀬田川の水質概況速報(平成 26 年度(2014 年度)第 4 四半期)

琵琶湖環境科学研究センターでは、水質汚濁防止法第 16 条の規定による公共用水域水質測定計画等に基づき、琵琶湖および瀬田川で採水、水質分析を実施しています。このたび、平成 26 年度第 4 四半期分について水質概況速報がまとまりましたので報告します。

なお、琵琶湖・瀬田川の水質は、年間を通した解析で正式な評価を行うため、ここで公開する速報値に、後日、修正を加えられる可能性があることをご了承ください。

◎調査方法について

北湖 28 地点、南湖 19 地点、瀬田川 2 地点の計 49 地点において、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、(独)水資源機構および当センターで協力、分担し表層 0.5m での毎月の水質変動を調査しています。

また、琵琶湖の北湖深層部における水深別調査は、当センターでは今津港と長浜港を結ぶ線上のほぼ中央の水深約 90m 地点今津沖中央 (通称「17B」)において、月 2 回実施しています。



○今津沖中央調査結果(17B)

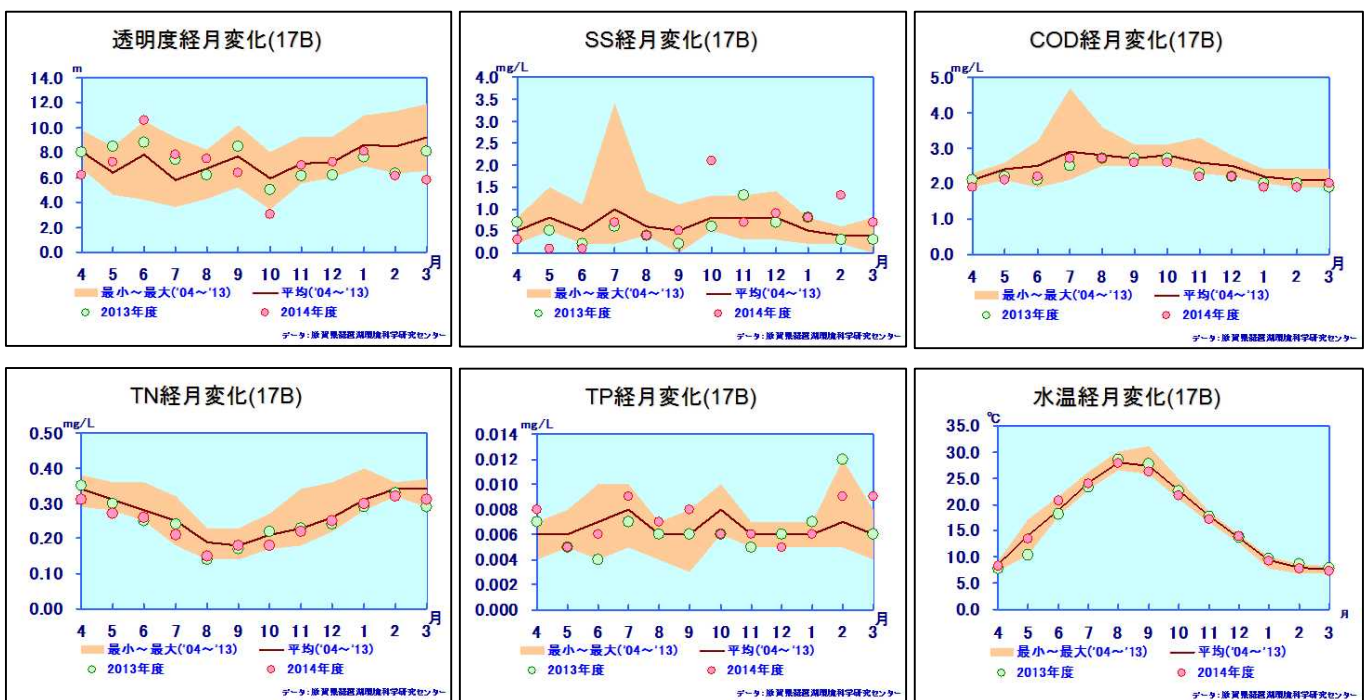
透明度については、1 月は過年度平均値並みの値となりました。2、3 月は過年度最低値よりも低くなりました。(2 月 6.1m、3 月 5.8m)

SS は、1 月が過年度最高値と同値になりました。透明度が悪化した 2 月は過年度最高値よりも高い値(1.3 mg/L)、3 月は過年度最高値(0.8 mg/L)とほぼ同じ値(0.7 mg/L)となりました。2、3 月の透明度の悪化は、SS の上昇が引き起こしたと考えられます。全般的に第 4 四半期は SS が高くなりました。

COD については、低めで推移しました。1 月は過年度最低値(2.0 mg/L)よりも低く(1.9 mg/L)、2 月は過年度最低値と同値(1.9 mg/L)、3 月は過年度平均値並の値でした。

全窒素(TN)は、1 月は過年度平均値並みの値となりました。2 月は過年度最低値(0.32 mg/L)と同値となりました。3 月は過年度平均値並みの値でした。

また、全りん(TP)は高めで推移しました。1 月は過年度平均値並みの値でしたが、2 月は過年度よりも高い値となり、3 月は過年度最高値よりも高い 0.009 mg/L となりました。



《問い合わせ先》

〒520-0022 大津市柳が崎 5-34
 滋賀県琵琶湖環境科学センター
 環境監視部門 公共用水域担当
 TEL:077-526-4255 FAX:077-526-4803
 E-mail: dc51400@pref.shiga.lg.jp